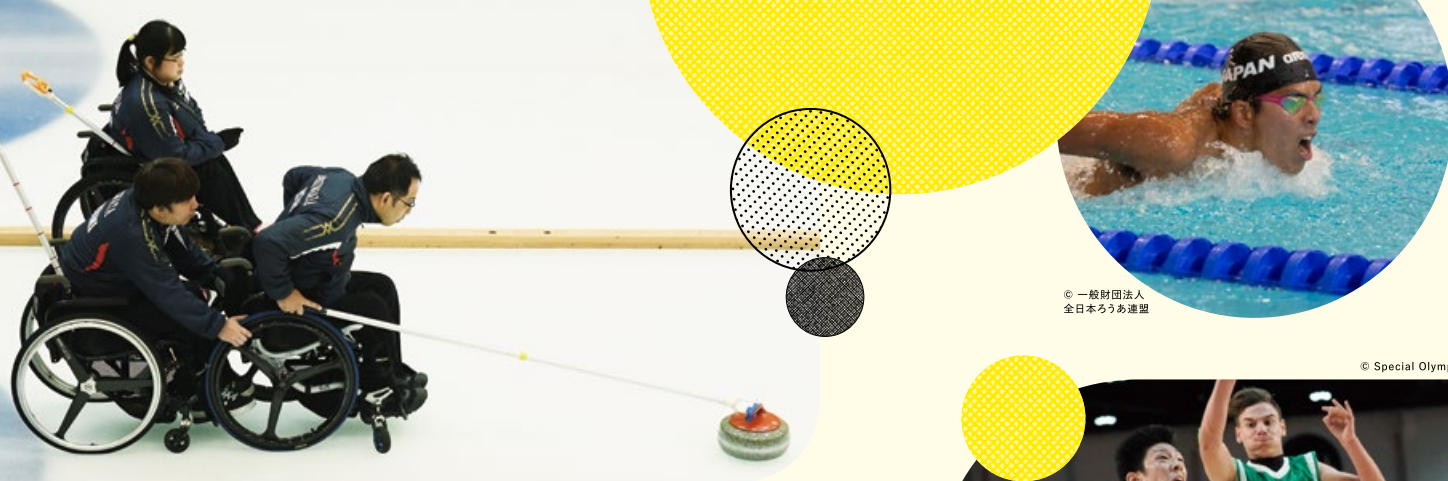




©日本車いすカーリング協会

© 一般財団法人
全日本ろうあ連盟

© Special Olympics Nippon

まだまだある！

注目の パラスポーツ国際大会



© 一般財団法人全日本ろうあ連盟

© Special Olympics Nippon

© エックスワン

パラリンピック（冬季大会）

PARALYMPIC WINTER GAMES



パラリンピック冬季大会も4年に1度、冬季オリンピックと同じ年に同じ開催都市で行われます。第1回大会は1976年にスウェーデンのエンシェルスヴィークで開催されました。

シンボルマークは夏季パラリンピックと同じで「スリーアギトス」と呼ばれています。「アギト」はラテン語で「私は動く」を意味し、困難なことがあっても諦めずに、限界に挑戦し続けるパラリンピアンを表現しています。赤・青・緑の三色は、世界の国旗で最も多く使用されている色ということで選ばれました。



特徴

● 障害の種類によって分けられたカテゴリー内でも各選手の障害の重さ（程度）が異なるため、公平な勝負ができるよう、各選手に障害の重さ（程度）に応じた係数をもうけ、実走タイムにその係数をかけた計算タイムで順位を決めます。

● 視覚障害カテゴリーの選手の場合は、ガイドと呼ばれるスキーヤーが選手の前を滑り、指示を出します。ガイドの多くは、後ろの選手にしっかりと声を届けるため、口元にマイク、腰にスピーカーを装着しています。

大会開催実績

	開催地	開催時期	参加者数	日本人メダル獲得数
平昌 2018大会	平昌、江陵 （韓国）	2018年3月9日～3月18日	49か国 567人	金：3個、銀：4個、銅：3個
ソチ 2014大会	ソチ （ロシア）	2014年3月7日～3月16日	45か国 547人	金：3個、銀：1個、銅：2個
バンクーバー 2010大会	バンクーバー （カナダ）	2010年3月12日～3月21日	44か国 502人	金：3個、銀：3個、銅：5個

競技（直近大会）



© エックスワン

アルペンスキー



© エックスワン

バイアスロン



© エックスワン

クロスカントリースキー



© エックスワン

アイスホッケー



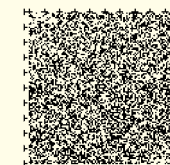
© エックスワン

スノーボード



©日本車いすカーリング協会

車いすカーリング



デフリンピック

DEAFLYMPICS



© 一般財団法人全日本ろうあ連盟



© 一般財団法人全日本ろうあ連盟

スペシャルオリンピックス

SPECIAL OLYMPICS



© Special Olympics Nippon



© Special Olympics Nippon

「デフ」は英語で耳が「聞こえない人」という意味で、きこえない人のための国際スポーツ大会です。オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会が2年ごとに交互で開催されます。第1回夏季大会は1924年にフランスで、冬季大会は1949年にオーストリアで開催されました。

ロゴマークの中央は「目」を表し、きこえない人が視覚を中心に生活していることを示しています。「GOOD（良い）」を意味する手の形が4つつながっていて、世界中のろう者の強いつながりを表現しています。



スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人たちの自立や社会参加を目的として年間を通じてオリンピック種目に準じたスポーツトレーニングと競技会を提供している国際的なスポーツ組織で、オリンピック同様に夏季・冬季の世界大会を開催しています。

**Special
Olympics
Nippon**



特徴

きこえない人のために、目で見て分かるように工夫しています。

- 競技会場では手話言語を使って説明や通訳を行います。
- 試合中は補聴器などを外して、全員が平等にきこえない立場でプレーを行うのがきまりです。
- フラッシュランプや旗などでスタートや審判の合図を知らせます。 →



© 一般財団法人全日本ろうあ連盟

大会開催実績

夏季	開催地	開催時期	参加者数	日本人メダル獲得数
第23回	サムスン (トルコ)	2017年7月18日～7月30日	86か国 2,873人	金:6個、銀:9個、銅:12個
第22回	ソフィア (ブルガリア)	2013年7月26日～8月4日	83か国 2,711人	金:2個、銀:10個、銅:9個
第21回	台北 (台湾)	2009年9月5日～9月15日	77 か国 2,493人	金:5個、銀:6個、銅:9個

冬季	開催地	開催時期	参加者数	日本人メダル獲得数
第19回	ヴァルテッリーナ／ ヴァルキアヴェンナ (イタリア)	2019年12月12日～12月21日	34カ国 493人	なし
第18回	ハンティ・マンシースク (ロシア)	2015年3月28日～4月5日	27か国 336人	金:3個、銀:1個、銅:1個
第17回	ハイタトラス (スロバキア)	2011年2月18日～2月26日	中止	

競技 (直近大会)

夏季
21 競技

陸上、バドミントン、バスケットボール、ビーチバレーボール、ボウリング、自転車、サッカー、ゴルフ、ハンドボール、柔道、空手、マウンテンバイク、オリエンテーリング、射撃、水泳、卓球、テコンドー、テニス、バレーボール、レスリング（フリースタイル）、レスリング（グレコローマン）

冬季
6 競技

アルペンスキー、チェス、クロスカントリースキー、カーリング、アイスホッケー、スノーボード

特徴

- 可能な限り同程度の競技能力のアスリートが競い合えるように、性別、年齢、競技能力などによってグループ分け（ディビジョン）を行います。

- 順位だけでなく、最後まで競技をやり終えたことに対して、全てのアスリートが表彰台に立ち、それぞれの成果を称える全員表彰があります。

大会開催実績

夏季	開催地	開催時期	参加者数	日本人メダル獲得数
第15回	アブダビ (アラブ首長国連邦)	2019年3月12日～3月21日	190か国 約7,500人	金:16個、銀:18個、銅:10個
第14回	ロサンゼルス (アメリカ)	2015年7月25日～8月2日	164か国 約6,200人	金:6個、銀:16個、銅:16個
第13回	アテネ (ギリシャ)	2011年6月25日～7月4日	170か国 約7,000人	—

冬季	開催地	開催時期	参加者数	日本人メダル獲得数
第11回	シュートミング、ローアモース、 ラムサウ、グラーツ (オーストリア)	2017年3月14日～3月25日	107か国 約2,700人	金:16個、銀:18個、銅:14個
第10回	平昌、江陵 (韓国)	2013年1月29日～2月5日	111か国 約3,000人	金:14個、銀:19個、銅:17個
第9回	アイダホ (アメリカ)	2009年2月7日～2月13日	95か国 約2,000人	—

競技 (直近大会)

夏季
24 競技

バドミントン、バスケットボール、柔道、ローラースケート、卓球、バレーボール、ボッチャ、ボーリング、サッカー、体操、新体操、競泳、テニス、ビーチバレーボール、馬術、ハンドボール、カヤック、オープンウォータースイミング、セーリング、陸上、自転車、ゴルフ、パワーリフティング、トライアスロン

冬季
9 競技

アルペンスキー、クロスカントリースキー、スノーボード、スノーシューイング、フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート、フロアホッケー、フロアボール、スティックシューティング

